うしく里山の会 広報誌

No.110

さへる

2012年4月号

髙 NPO法人 うしく里山の会

事務局 〒300-1212 茨城県牛久市結束町489-1 (牛久自然観察の森内)

FAX 029-874-6812 TEL 029-874-6600 E-mail u_satoyama@infoseek.jp HP http://u-satoyama.web.infoseek.co.jp/



図1:展示会場 1フレームに4×4=16リーフを収める 林 ₩

街 路 樹 2

0

羽

賀 正

雄

る 2 区目白)) に お (全 の執筆を勧められた。その際に、そんところ数名の立ますので、チール ずは日本のかけて Š て 世日 趣協 の 会・ れチ方ムま 一が街 植に が街植 切切 手手 ー 者 熱 0 の 心 の で 部 少 が物 i 会で、 々増にメ 述田参ン

開館

教え

樹は

見世

の

木(

オ

木 !

てる (繁

し樹栄バ

手のや衰バ

す職も

切た木

る

す識よよ種バをれで催 ザはて国ま類 い名せかそ れ警切森っイ て鐘手林図ンそま額で 1・6のすって 1・6のすって 1・6のすって 1・6のすって 1・6のでも 1・7のでも 5 いますら です。 の切ますら た **る鳴らすもので、乱伐の様子がリアルに表現です。この切手は、ウガンダ発行の森林減少り切手の発行の背景を調べると同時にそのデが明明の発行の背景を調べると同時にそのデがする。テーマティク作品をまとめるに当たっては読み解くことが重要となります。** テーマティク作品をまとめるに当たっていが手は、僅か3センチ四方の大きさの中に、切手は、僅か3センチ四方の大きさの中に、切手は、僅か3センチ四方の大きさの中に、が明らないでは、世界で発行されて数十万種の切手にめには、世界で発行されて数十万種の切手 面切そめ デてれ り手 現少いて

識よよ種バをれで催 のを森退ブ べさ観バ私さとりつ技ラコら12 さ昨収契林 ` `今てんい」もれそ ` て術のバの分れ年集機を度フラブなす。 とそれを生かしたストーリ、テーマに関する郵車も出展していますので、「ク回の私の展示テーマはがから本誌への執筆を知いただきました。その呼に分かれていと思います。「大の野に分かれていと思います。」で、テーマとしていますので、大切の原産地・原種の人がありました。その際においます。「大切のがあるものです。本林を対した。主催は日本郵車に対した。主催は日本郵車に対した。主催は日本郵車に対した。主催は日本郵車に対した。主催は日本郵車に対した。 展開が求めらいとより、専門は国際ルー: 史、 るテとし は争ら ら 専 ・ 等 ・ 、 ま 知 に 育 展が マそ示開



頂へ続く伐根、 握って満足顔の 崩壊した林地が さらに右側には 品を前に札束を 広がっています。 に伐採作業、 その背景 Ш

上段には製材

腰をおろす落ち ぶれた地主の姿 切り尽くされた 下段は一転して 伐根に UCAMM

ウガンダ 1954 福電保護

林地で、



森林減少を生生しく表現 図 2

がみられます。この切手から、 ると同時に経営をも破壊するとのメッセージを読み 乱伐を説明するのにぴったりのデザインで 乱伐は森林を破壊す

活動、 災の原因」につながるものです。 るものです。 ています。 消火活動、 くいですが、上段2枚が火災発見のためのパトロー 火災の対策」を示すリーフで、 航空機(落下傘降下)・林地用消防車や消防士による 次に「図-3」は、 その下が航空機による消火剤の散布、 その下段の右2枚が住民や消防士による消火活 跡地緑化作業という一連のプロセスを説 数枚の切手により、火災の発見から消火 そして左下が火災跡地の復旧造林を示し において「森林破壊 前ページの「森林火 図が小さくて見に 中央左は 崩す

宇宙の奇跡と言われる緑の地球の誕生から始まり 切手を物語に沿ってまとめる最小の単位がリーフ は1フレーム(16リーフ)のみで、 ムに入れて展示します。 切手展では縦横4リーフずつ16枚を単位に 図1 物語の構成は 表紙]参照

> 人類によって壊される地球、 森林再生への努力(植樹運動)、 結びに次世代への遺産として後の世 砂漠化、 生物種の減少)に触れた上 酸性雨)と森林減少の影 その中での森林破壊の 森林保全キャン

世界の緑化切手展」(主催:国土緑化推進機構)を単 価を得ました。その後、 年までに全国切手展に数回出品しています。 とによって、 る森林や環境の課題、それへの対応等を紹介するこ がありますが、私の場合は切手を通して世界におけ 独で行っています。 作品は6フレーム(%リーフ)で構成され幸い高い評 あります。 と思っています。 紀に森林を引き継ぐ責任を呼びかけています。 利用と保全」がベースであり、1970年から 実物を見ないで切手についてお話するには限界が 今日まで私が追及してきたテーマは、「森林 に東京中央郵便局ロビー において「地球を緑に! 昨年は国連「国際森林年」で多くの切手 環境問題を考える材料を提供し得れば 切手収集にはいろいろなタイプ 97 年 98年4月の「緑の週 緑の切 96 か 年 の 96 そ

手展」 を夢見ています。 いずれ近くの会場での「



図3 森林火災対策



チ2事業報告

靖

近隣の巨木・ 希少木を訪ねて」

ます。温暖な地を好み、近畿地方~琉球に分布し、力が必要とされ、「弁慶泣かせ」のたとえさえありため葉を縦には楽に引き千切れても、横には相当の平行脈は沢山あるが横方向に筋がありません。その が深く「海が凪ぐ、」「災いを薙ぐ」など平安、 この地域では珍しい木です。古来から信仰との関係ます。温暖な地を好み、近畿地方~琉球に分布し、 マキ科に属する雌雄異株の常緑樹。葉に特徴があり、 文化財になっています。 mほど北にあります。橋を渡る直前の一帯、 の影響を受けて日程を変更しての研修会になりまし (化財になっています。周囲2・3m、樹高14m、ほど北にあります。この木は昭和58年に市の指定 /木を訪ねることになりました。 2月28日の研修活 ナギ(かすみがうら市田伏、 かすみがうら市田伏は、 以下巡った順にそれぞれの印象を報告します。 なりました。折からの天候不順.動では当市近隣にある古木・希 ナギは田伏郵便局から100 国道354号の霞ケ ;を薙ぐ」など平安、厄古来から信仰との関係 市指定文化財)

市柏崎) も知れない・・・。 **素鵞(ソガ)神社のオガタマノキ(かすみがうら**

除けなどの神木として大事にされて来たようです。

ここの木も霞ヶ浦の「凪、

なぎ」に通じていたのか

社殿傍にあります。モクレン科の常緑高木で日本に㎞行ったところに素鵞神社があり、この木は境内の先のナギから国道354号を横切る形で北へ約2 の時期、既に枝の先端に大きな花芽を付けていまし円形でやや肉厚の革質、表面は光沢があります。こ 自生するモクレン科では唯一の常緑樹です。 指定文化財として保管されています。 が咲くという。その時期に再訪してみたい木です。 四月頃に直径3mくらいで、 神社には竹切り祇園の神事を伝える絵馬が市 芳香のある白い花 葉は楕 た

出島のシイ (かすみがうら市下軽部、 県指定天然

かすみがうら市下軽部に寄りました。 ここには県指 オガタマノキを見た後、石岡方面へ向かう途中で、

> 幹周り7 ませんが、 ていました。 定天然記念物のスダジイがあります。 今は廃寺となっ でした。 ている長福寺山門のすぐ横に堂々とした貫禄を見せ 節くれだった木肌、交錯した根張りなど、 主幹は途中で失われて、樹高こそあり 樹齢700年との表示はむべなるかな



「出島のシイ」

たが、 側に築いた塚を指したのが始まりといわれます。 が残っていて全国的にも珍しいそうです。 街道を往来する旅人やこの樹の下で一休みする様を り過ぎてしまうところで印象に残っていませんでし 2代目の木が立っています。今までは車でさっと通 台風で塚の上のエノキが倒れたため伐採され、 4㎞) ごとに設けられた路程標で、 イメージするのはそれほど難儀ではないと感じまし この一里塚は案内板によれば、 両側にありました。 一里塚とは主要街道の一里 日本橋を起点にして、東海・東山・北陸の三道の両 石岡の 石岡の一里塚は、 今回 一里塚(石岡市泉、 こうして道路傍に立ってみると、この JR石岡駅の北、旧水戸 県指定史跡 道路の両側にエノキ 江戸幕府が江戸 。 平成14 年 ,街道上(一(約 ے

佐久の大杉 (石岡市佐久、県指定天然記念物)

衆議でこの佐久の大杉に変更しました。この木は佐周るところでしたが、桜は花がなくては・・・との 久地域の鹿島神社のご神木として樹齢1300年余 予定では土浦市小野にある向上庵のヤマザクラを

が「アヤメ園」の維持管理作業でした。

自宅 (刈谷団地内)

から近いこともあってその気

座に飛び込んでみた。そこで紹介された活動の

) 1 つ

いう思いもあり、

を打ち「サンデー毎日」の日々を送っていた。

昨年の6月末、長~ いサラリーマン生活に終止

リタイアしたら、何か地域のお役に立ちたいなと

市のボランティア活動の初心者講

がしかしピカピカの1年生である。

わたくしは1944年

(昭和19年)

生まれの67歳

ピカピカの

一年生

あやめ受託事

笹森

裕悦

も示唆しているようにみえます。 です。それにしても、1300年余の歴史を背負っ れて木肌はむき出し。そこで、平成9年から12年に るほどすごい。しかし1300年の歴史は台風、 と言い伝えられています。 かけて土壌改良作業を含む大掛かりな保存活動があっ さすがに樹齢は隠せない。主幹は折れ、 た大杉は感動ものである一方、人の係わりの重要性 て樹勢回復を図った結果、今の姿を留めているよう 天候不順等々を生き延びて来た歴史でもあって、 幹周り8・9mの姿はな 樹皮は剥が

予定した樹木を巡り終える頃は丁度昼時となり

12.2.28



佐久の大スギ」 12.2.28

も をは 10 を を 10 を

取りから始まっネ(畝)の草は時節がらウ 時 最 初の作業

草取り作業をしながら「この草は何々」と固有名詞 がこころに引っ掛かってきた。草花には本来固有の に枯れたアヤメ以外は雑草としか言いようがない。 で呼んでいる。1年生のわたくしにとっては、すで 2、3回作業しているうちに「雑草」という言葉 『アヤメプロジェクトチーム』の上級生諸氏は、

で目的の栽培植物以外に生える草)とある。 し「雑草」に目を通してみた。 とって有用ではないが無用ではない。 雑草:自然に生えるいろいろな草。 雑草は、 何か愛おしい気持ちになってしまう。 言わば植物のマイノリティ (?) また、 人間に なので 農耕地

名詞があるはずだ。 あらためて広辞苑を引っ張り出

べく作業も本格化してきた。 て3月からとなった。アヤメ開花の初夏に合わせる 予定していたが、今年は春の訪れが遅いこともあっ 昨年末に一時中断した作業も、2月からの再開を

い る。 「話」が愉しく、 年生も前期の授業が終了し、 作業の合間に交わされるチームメンバー 上級生はこれからが本番だと気合を入れてく 登校も苦にならない。 後期に入ろうとして の 四方

アヤメ開花後に渡される「通知表」

が「よくできま

の留意点として、

立った活動を進めていきたいと考えています。

ブログラムづくりの工夫を重視し、

が進められていますが、自然観察活動を進める上で

観察地の放射線量の事前測定と、

参加者の立場に

於いても東日本大震災に伴う放射性物質の除染作業

できるよう努力していきたいと思います。

牛久市に

今年度も、

更に魅力のある楽しい観察体験を提

の栄養になっているともいえるでしょう。

をいただきたいものである。



スイレンを除去する1年生(?)

もうベテラン組である

保育園、

小学校、一般となり、

参加人の総計は10

大別すると幼稚園、

回数は19回。要請された団体は、

表のとうり無事終了することができました。

86名を数えました。

活動内容としては、

田畑などを活用しての動植物の観察が中心で款内容としては、身近な緑地、公園、水辺、自

自然観察体験の楽しさと大切さ

察出

前

講 石 神 座

良

月	回数		소-10 1 #			
		幼稚園	保育園	小学校	一般	参加人数
4	2			114		114
5	2		18	109		127
6	2	73		110		183
7	6		73	119	184	376
9	1			112		112
10	1				36	36
11	3	71	17			88
12	1		18			18
2	1	32				32
計	19	176	126	564	220	1086

ることにより、

普段は何気なく行き過ぎてしまう自然に目を止め

たくさんの命の躍動に触れ、

感動を

活性化させ、活脳のはたらきを ても感動体験の 者の方々であっ みならず、 幼児や小学生の わかっています。 を高めることが 動意欲や想像力 高齢



公園で



「トゲがある木 痛い!」 雑木林で

参加してくれまし 生にとっては、 究によると、 き生きと意欲的に 体験に等しく、 ての観察体験は初 くさんありました。 共有することも いろな感動体験 たらきに関する研 最近の脳のは 幼児や小学 いろ 生 全



平塚

モニタリング調査で感じることあれこれ

時50分に終了できました。いつものコースで調査を開始。終了予定時刻前の11調査」について短時間協議。その後、午前9時10分、 前、この春の時季に実施を予定している「スミレの時々参加してくれるMさんの計4名。調査スタート 心配をしないで済みます。参加者は常連の3名の他、みの寒さ。 寒さの峠も越えこれからの調査は寒さの 査を悪天候のため当初予定より1日延し3月11日平成23年度最終回のモニタリング1000里地調 (日)に実施しました。 当日は天気も回復、 終了予定時刻前の11 平年並

出しになった崖地の上方にシュンラン数株が厳しいな気持ちです。一方、きれいに除草され地肌が剥き 残念な気持ちに。便利になると失うものもあり複雑 置に以前キンランが花を咲かせていたのにと思うと 道路として整備されつつあり、その道路となった位 「育環境にも関わらず今年も蕾を付けていました。 を南北に縦断する山道が削られ砂利が入れられ、 今回の調査では延べ約200種を記録しまし コースの要地の1つで重点ポイントである牛久城

出なつナだののあ しかも?イ故冬の てに湿はヌかのみ い頭地いス。寒

こ 1

多 数 の ひ げ 根 をつけた ス ズ メ / カ タビ ラ

~ 琉球の市街地、庭、道端などいたるところに生え、 たのに今は馴染みの雑草です。 空地や道端で見られます。 市内でも適度な日当たりなどの条件があれば冬でも 帷子)」について紹介します。 じ毎回顔を合わせてきた「スズメノカタビラ (雀の 数多く見られるのが外来種のオランダミミナグサと ハコベ、タネツケバナ。目立たないがいろんな所で オイヌノフグリ、 無数のひげ根が浅く張る。 以前は存在さえ知らなかっ 葉が群がって出て株となり、 に分布する1年草または越年草で、国内では北海道 イネ科のスズメノカタビラ。今回はこの1年間を通 この時季一つ一つは小さな花ながら目立つの ホトケノザ、ヒメオドリコソウ、 根元から扁平な茎と細い 株の直径数 ㎝~ 10 極地を除く世界中 сщ

が生育しているか調査します。以前はごくごく身近 回のペースで稲荷川に沿った田の畦、 言われていた「スミレ」が対象です。 な植物として「スミレ、タンポポ、 査」ですが、実施時期は3月下旬~5月上旬、 前述した「稲荷川下流域の各種スミレの発生地調 空地等をどこにどの種のスミレ レンゲソウ」と 斜面林、 畑地 週 1

を見て今が旬の筍掘りを行いました。

今年の出来は、今の時期にしては発育が遅

い

収穫量は少ない。天候不順の影響でしょうか。

今年度の作業内容や日程を話

レダー にかけ、

元の竹林に返す作業。

を切り、粉砕機を竹林内へ持ち込み、次々とシュが、今は竹を切る時期では無いので倒れていた竹



維木林応援隊活動報告

伝

活動日:4月11日・ 振りの晴天に恵まれ、 場所:ムジナの里・参加者:多 数

> な拾ら んいれ が 瓶 空 7林内部の枯平行して、 い集め が投げ き 一杯になる。 に る とごみ袋 缶 は لح ゴ 竹 ると 捨 IJ 空き 路に 7 ゃ

れた竹の整理。竹林内部のサ もっと間伐を したいのです

倒れた竹を運び出す隊員

応

昼食をとった後、

草刈は中止する事になりました。 そこで、予定を変 伸び始めた雑草の草刈を考えていましたが、 抱卵する時期でもあり、雛の巣立ちが終わる夏まで 合わせを行った後、竹林の整備をしました。 竹林整備をしました。 最初に全員で朝の打ち キジが 当初、

合いました。 今年度は、 隊員の退会等も有り、

チッパー(粉砕機)で古竹を処分

竹の、

切り残し

竹炭用に切った

を確認しました。 つかり再度内容 無理な作業も見 部日程や内容で、

午後は、以前

林やムジナの里

作業を完了。 2時には全ての け処理しました。 どを粉砕機にか た部分の穂先な

状態を取り戻し皆さんと確認後、散会しました。 5月活動予定:第2日曜日 (5月9日) 第4日曜日 (5月23日)

料の製作予定。 園入り口のコジュケイの森の道路側の垣根補修用材 両日とも、 梅林奥の炭屋前での作業。観察の森、

サニーレタス等の収穫。 芋の植え付け用土作り。 本年度は15名でのスタートです。 トウモロコシと人参の種まきを実施。 活動日:4月6日 (毎週火曜日)・ 雑草取り。 菜の花、 参加者8名 そして、里 た。

5月活動予定:(毎週火曜日)

是非参加下さい。 応援隊、畑隊とも見学者大歓迎です。 夏野菜の植え付け用土作りと種まき。 時間があれば

前田 之

親子農業体験講座

4月から活動開始!

タッフの構成変更があり、 いくかを見極めなければなりません。 いよいよ2012年度の活動が開始されます。 参加者も少数で行い、 今後の活動をどう行って 新規一転で活動に望みま ス

あります。 とも大事なので、こちらもいろいろやりたいとも考 考えております。植え方や肥料のやり方、いろいろ ろでした。そろそろ何か実験的に試していきたいと を行ってきまして、収穫量もまずまずといったとこ いて試していこうと思います。結果をお楽しみに。 収穫以外でも、 じゃがいも、 まずは、 里芋、さつまいも。例年同じ植え方 参加者間での交流を深めていくこ 雑誌に記事があった植え方につ

を重ねる 回 年、 え 参加いた の ŧ 方々に す。 て おり 多く 毎



元気に育 て!

さんが参加していました。 うパターンも多々ありました。 た、とい 私も気づけばご近所

だ何を植えるか決まっていませんが、じっくりと土 きます。 親子農業体験講座の畑もじっくり土作りが 作りを行い、丈夫に育てる土台をしっかり整えてい 動を開始し始めました。ひとまず耕しています。 ま めていければ最高ですね。 つながりを大事にしていき、さらに活動を通じて高 も友達だった、ということもあります。 こういった 子どもの幼稚園、小学校が同じ、はたまた、友達 話は変わりますが、我が家の庭でも今年度の畑活

> なかなか勇気が出ません) すが、変えていくことも大事ではないかと思いま していきます。 毎年同じことを行うことも大事で いませんが、活動しながら試していけることは試 レンジしてみたいのです。 なんだかんだと書いてきましたが、今年度はチャ (自分自身についても同じことが言えますが) 具体的には何も決めて

お願いいたします。 せんが、皆様ご協 でできるかわかりま この一年、どこま 力



私と「うしく里山の会」の

監 増 田 勝 彦

第8回目

した。 主で、結局、うしく里山の会に入会することにしま 消ならぬ地元牛久にある活動体を探そうと考えてい く里山の会」のみ。福祉・特別養護老人ホーム等が れ傍聴、十数団体の報告が終わり環境団体は「うし た矢先、市内登録団体の活動報告会が市役所で行わ 勤務地で入会していたNPOではなくて、 地産

気づかなかった自然が、ここにあったと驚きました。 る音を体感、企業社会にどっぷりと身を沈めていて フリーの身になって、森を散策中に木の葉の触れ

ご指導願います。

どうにかしたいのです。どなたか良い対策があれば

耕してもしばらくすると固くなっています。これを

まうのでなかなか出来ません。また、土が固いので、

できれば良いのですが、活動が土日限定となってし

人申請をすることになりました。てから問題点を解決しようと言う折衷案になり、法するかどうかの話題で賛否両論。ともかく法人になっ月に一度の運営委員会の議題は、会をNPO法人に用、市職員が2名常駐で市の直轄。入会した当初、当時の会は、自然観察の森を打合せの場として借当時の会は、自然観察の森を打合せの場として借

トの運営にも一段の工夫をこらす努力が求められているのを感じます。一方では、会員が質なった集合体でしたが、当時の大多数の会員は、NPO法人の基本要件である「不特定多数の利益のために」という意識を持ち合わせていないのが実情だったと思います。これは、会の設立過程を考えると無いのでは、という意識を持ち合わせていないのが実情だったと思います。これは、当時の大多数の利益のために」という意識を持ち合わせていないのが実情だったと思います。これは、当時の大多数の利益のたい道域の基本要件である「不特定多数の利益のたい道域の基本を表示しばしば使われます。当会の成り立ちは「牛久自然というでは、

も日々の活動に改善を積み重ねていきたいと考えま社会で有用なNPO法人として存続していくために数以上は交代し、認証後10年を間もなく迎えます。――NPO申請当時の理事・監事・運営委員も既に半――――――

般投稿

木秋山 昌 史

モニタリングサイト一〇〇〇里地

険性についても触れた。

時に、データの公開に伴う危による国際展開への期待と同

ナガサキアゲハの分 生育地破壊阻止の緊急データとして役だった。また中池見湿地では、水路の改修工事による稀少植物の現在197サイト登録されている。例えば福井県の現在197サイト登録されている。例えば福井県のデータを使った環境研究も可能である。里地部門は境変化の解析に役立てることが可能となる。膨大ならで、地球環境の変動把握、保全政策への提言や環とで、地球環境の変動把握、保全政策への提言や環とで、地球環境の変動把握、保全政策への提言や環

がよくがかったのように使われるかいように使われるかいないでは全国的に示され、が顕著だが、在来種に外来種の分布拡大が顕著だが、在来種に外来種の分布拡大も明確になった。植物では全国的に持ち込まれた蝶ののように使われるが、人為的のように使われるが、人為的のように使われるか

として、モニ千データの利用情報の登録・活用への期待」して「鳥類の種数と景観の関して「鳥類の種数と景観の関いに、これまで得られた全国

ングなど現在の活動の発表があった。発表者も質問 ていたのが印象的だった。 者もみな喜々として「マイ自然、マイ里山」を語っ 査クラブ)、 自然を守る会)、 こげさわ森のほ乳類 (木下沢調 タリング調査活用を目指して(天覧山・多峯主山 察会より「林の声を聞こう」 「奈良川流域からの調査報告」 このあと各サイトからの報告として、 飯田市ハナノキ自生地でのモニタリ ` ` 里山再生へのモー いたばし自然観 横浜市から の

となった。また「調査精度」については、多少怪し 活動も展開し地域の人をうまく巻き込んで行く」とすぎない、調査活動だけでなく自然の恵みを楽しむ いデータでも大発見につながることもあるので抹消 科会をもった。「植物」では同定が最大の関心事で、 夕解析、データの共有、 の対象別四分科会の討論を、 最後に一時間半ほどかけて、 から参加した人が参加しやすいよう先輩達が頑張り 「長く続けるコツとして最初から無理をしない、 発活動についての話が中心となった。 話の最後には、 では調査者の高齢化と次代を担う子供達への普及啓 拠を残すことが肝要と結論づけた。「 後継者育成 達人の知識を如何に効率的に受け継ぐかが中心話題 なるべく写真や標本、複数確認などにより証 後継者育成など内容別四分 後半は調査精度、 前半は植物、 鳥類など デー

咲かせた。 れぞれ興味ある人とお互いの自慢話や苦労話に花を 五時からの約一時間は、お茶会による懇親会で、そ



般投稿

横 Ш さえ子

話を聞きました。 おまいりすれば願いがかなうという三社参りのお

近所の10人ほどで、もちよりの女子会を開きまし 90歳になった人のお

祝いと、病気回復の人を 祝ってでした。

話です。 78才になる人から聞いた 牛久生まれ・牛久育ちの

色々な話題が出た中で、

男の人が居て「帰りたい、 職場に、 故郷が九州の

いたそうです。 帰りたい」 と常々言って

あったそうです。 して「おばさん、九州に転勤になったよ」と報告が 三社参りを教えてあげ、 また、外国籍の女性はなかなか職につけなくて悩 おまいりをすると数ヶ月

まもなく就職できたそうです。 眉唾と思ってもいいですが、 何か願い事がある人

んでいました。同じく三社参りを教えてあげたら、

はおまいりをしてもいいかもしれません。

ちなみに三社は

女化神社

牛久幼稚園隣の柏田日枝神社

関係があるのでしょうか?) 土浦の摩利山(未確認)にある摩利支天様 摩利支天様は文字からの印象だとキリスト教に

屋外での実技

編集委員から 宝くじ当たりますかね!)

第1回刈払機講習会 (安全衛生特別教育) が無事終了しました 輝

雄

刈払機講習会報告

ました。 特別教育が3月14日、牛久自然観察の森で開催され第1回・うしく里山の会主催の刈払機の安全衛生

無事に全体を終了しました。 実技を行いました。皆さん熱心に受講されました。に耳を傾け、その後は屋外に出て刈払機を使って「 する知識・作業に関する知識や振動障害・関係法令18名の受講者は朝9時から16時まで、刈払機に関 員に終了証が手渡れました。 講師の2人は綿密に前準備をしたため、 その後は屋外に出て刈払機を使っての 最後に代表理事から全 なんとか



講義に耳を傾ける 受講生

「うしくの里山フォトコンテスト

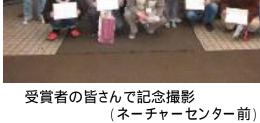
実行行委員会事務局 (阿部幸浩

のもと、 いしました審査委員の先生方の参加 受賞者をはじめ作品の選考をお願 3月18日に表彰式を開催し

ました。 の生き物や人々の生活のつながりをみることができ 作品から感動をいただいた。 里山で 石神審査委員長からは、「多くの

ばれた3作品は、 観察の森を訪れる市民のみなさまとともに共有する 久の里山を再認識し、また撮影された方々の思いを 講評をいただきました。 かきたてられるすばらしい作品でありました」との ました」、また、 応募いただいたすべての作品を通して、 写真を見た時に、どれも想像力を 太田審査員からは「最優秀賞に選 貴重な牛

ことができました。 ありがとうございました。 紹介す 魅力を 里 身 近 な からも して、



このみ テスト トコン る場と ていき



エフップ作戦 齊藤

結束町みどりの保全区

エコアップ作戦」参加者募集のお知らせ

皆様のご参加お待ちしています。 のもと、下草刈りや除間伐、 行う「エコアップ作戦」では、 久市結束町みどりの保全区」の森林維持管理作業を 牛久市結束町の牛久自然観察の森に隣接する「牛 活動には会員・一般問わず参加出来ます。 風倒木の処理等を行なっ 地域の皆さんの協力

2月末でしたが、

月の活動日時

6日(金)午前9時~11 日(日)午後1時~3時30分 - 時30分

集合:牛久自然観察の森ネイチャー センター 階倉庫前

予約不要/荒天時は中止

ホームページに情報掲載

:長靴、 チェーンソー使用は安全衛生教育(特 別教育) 軍手 (長袖、 終了者のみ 長ズボン)

担当:石神 029-874-6600 問い合わせ先

務 便

1)

4月1日より新年度がスタートです! プロジェクト内でご確認ください

なって「会費の振込用紙が来ないなあ」と言ってい皆さんが所属されているプロジェクト内で、最近に るメンバーを見かけた方はいませんか? 会員資格を更新する為の、 まだお済みで無い方がいらっしゃがする為の、継続会員の納入期限は

が届かなかったなあ」と言われているかもしれませ 発送も先月号でストップしており、「今月は会報誌)更新の為の会費未納の方は「会報誌さとやま」の るようです。 また、会員資格が停止している為、 通常総会の

ます) プロジェクト責任者や事務局までご一報ください。 身近なメンバー で該当者に気づかれた皆さんは、 議案書もお送りできません。 (このまま未納の場合、五月末で会員資格を喪失し

スに用紙がございます。 センター受付までお越しください。 納入用紙を紛失された方は観察の森ネイチャー 里山の会ボック

認をどうぞ宜しくお願いします の皆様は、活動時にメンバーへの再度の声かけ、 (各プロジェクトの責任者、副責任者、 会計担当 確

同じく漢数字から英数字にしました。3月号から記事の中の数字の表現を変更し新聞 数字の表現を漢数字から英数字に変更しました。

五 5 四十五 45

今月号は増ページしました。

少しでも多く掲載しようと2ページ追加しました。 今後ともたくさんの原稿をお待ちしております。 今月は皆さんから多くの原稿を頂きましたので

> 身近な樹木 No.13 マルバヤナギ

なく、 ンノキもありますが、 ンノキもありますが、写真のいます。 湿性地の高木には八 ます。市内では牛久沼畔や川なく、南部に広く自生してい ています。 四国・九州の水湿地に分布し 岸などの湿った場所に生えて 県内では北部には

に裂開し、 一色で、葯を支える花糸の下部に毛があるのが特徴 があり、 があるだけの特異な形です。 弁がなく、雄しべまたは雌しべの基部に苞と腺体 5~15㎝、若葉は紅褐色です。雌雄異株。葉は互生で、狭長楕円形ないし広楕円形 したものが果実 (枠内の写真は成熟前)で、 子房には毛が無く、長い柄があります。子房が熟 4月、葉が開いてから花穂を出します。 ような樹冠の広い高木はマルバヤナギです。 雌木の雌花穂にも葉があり、 長さ約7㎝。雄しべは3~5個、 長い綿毛のある種子を風で飛散させま 狭長楕円形ないし広楕円形、 雄木の雄花穂には葉 長さ2~4㎝、 花には花 葯は黄 花期は

アカメヤナギの別名がありますが 名前は葉が他のヤナギ類に比べてやや円いこと、 若葉が赤味を おびてい



全景(11.8.2)と 成熟前果実(10.5.31)

ます。 にそれぞ れ由来し

ること、

(渡辺泰)

2012年 4月 NPO法人うしく里山の会 活動カレンダー

日月火水水水金							
1 巨木リサーチ2(特) 9:00ポランティアC	2 (休園日) アヤメ園(受) 8:00アヤメ園P	3 森の畑 9:30畑	4 チーム・街路樹20(受) 7:30 市ボランティアC前	5 アヤメ園(受) 8:00アヤメ園P	型山保全ボランティア 9:00NC クラフトプロジェクト 13:00NC	大 7 親子農業体験講座 9:00畑	
8 雑木林応援隊 9:00ムジナ	9 (休園日) アヤメ園(受) 8:00アヤメ園P	10 森の畑 9:30畑	11	12 アヤメ園(受) 8:00アヤメ園P (会報等原稿が切)	13	14 里山自然観察隊 (モニタリング 里地調査) 9:00得月院P	
15 運営委員会9:00NC 理事会11:00NC 里山保全ボランティア 13:00NC	16 (休園日) アヤメ園(受) 8:00アヤメ園P	17 森の畑 9:30畑	18	19 アヤメ園(受) 8:00アヤメ園P	20 クラフトプロジェクト 13:00NC	21 親子農業体験講座 9:00畑	
22 维木林応援隊 9:00炭屋	23 (休園日) アヤメ園(受) 8:00アヤメ園P	24 (休園日)	25 (休園日)	26 アヤメ園(受) 8:00アヤメ園P 森の畑 9:30畑	27 会報発送 13:00NC	28 巨木リサーチ2(特) 8:30市役所 維木林応援隊 9:00炭屋 ナーム・街路樹20(受 13:00ポランティアC (交流会)	
29 (昭和の日) 雑木林応援隊 9:00炭屋	30 (振替休日) アヤメ園(受) 8:00アヤメ園P 雑木林応援隊 9:00炭屋						

活動日は天候等により変更とな る場合があります。

最新情報はホームページをご確 認ください。

【凡例】

森: 牛久自然観察の森 NC: 牛久自然観察の森ネイチャーセンター P: 牛久自然観察の森駐車場 炭小屋:牛久自然観察の森駐車場奥の炭小屋 畑: 牛久自然観察の森駐車場奥の畑 コジュケイ: 牛久自然観察の森コジュケイの林 観察舎畑: 牛久自然観察の森内観察舎前の畑

ムジナ: 結束町の雑木林(通称ムジナの里)

市役所: 牛久市役所本庁舎 市役所脇: 市役所横の近隣公園 ボランティアC:牛久市ボランティア

中央生涯C:牛久市中央生涯学習センター

アヤメ園:三日月橋観光アヤメ園

(休園日): 牛久自然観察の森休園日 (受):受託事業(特):特別事業



分の日)

m

また、

今年は春一番も記録されない。

10分間の平均風速が 番にならない

3 月

20

日

存

年以来12年ぶりとのことである。

関東地方で春一番が観測されなかっ /sの風が吹き込まないと春一 までに南の高気圧から、

たの

は20

0

よう

聞く姿が想い浮かぶ。

かな。 たらどうなりますかね。 中々面白そうなのでこの本を読んでみようと思う。 ただ、人間の社会(企業)で働かない人間が7割も

いうことである。

まう恐れがあるため、 存在しているのが働 |不可能性に対処するための社会全体の余力」として 全部のアリが働い なぜこんなに働かないアリがいるのかというと ていると不測の事態に全滅し かないアリということであ 予備軍として待機しているそう ් බූ てし

この本によるとこの時に約7割のアリが働いてい |などに群がっているアリの集団を見ることが多い 運ぶ集団のアリの行列や、 働かないアリに意義がある」の本からの紹介である。 働いていない」ということだった。 知れない い話題があっ それは「アリの社会は、 アリは働き者というイメージが強い。 これは、 私は散歩しながらラジオを聴くことにしてい 北海道大学院準教授 が (もしかしたら皆さんはご存知か 働きアリのうち7 地面に落ちている菓子や 長谷川英祐氏の 道端などで餌 割 るが の が ない アリ 面

アリの予備軍とは大きな違 輝雄

広報委員会からのお知らせ

次号2012年5月号の発送は4月27日(金)発送の予定です。 うしく里山の会ホームページではカラーの 会報を見ることができますので是非ご覧下さい。また会報に対するご意見や皆さまからのご投稿をお待ち しております。 メールのアドレスは(u-satoyama@jcom.home.ne.jp)です。

うど桜の花も満開になるかもしれない。 まくいっていないようだ。 暖かくならず、 は桜の花びらの下でピカピカの1年生が先生の があった。4月初めは入学式のシーズン。 ピカピカの1 梅・桜の開花が遅れ観梅等の予定がう 年 生」 今月号の記事の中にこん しかし、入学式の頃にはちょ 入学式のイメー 今年は中々 話を